

# 廃棄物処理施設の環境影響調査

## 生活環境を損なわないよう配慮が必要

環保協の  
環境生活・  
センター

(25) 環境保全課



騒音測定用の特殊なマイク(上)。下は大気測定中の測定項目も、安全に配慮して調査を実施している。

家庭で出るごみは自治体が処理することになります。ごみを処理する施設は廃棄物処理施設と呼ばれます。環境生活センター環境保全課では、業務分野のひとつとして、廃棄物処理施設を設置するために必要な調査を実施しています。

廃棄物処理施設には、ごみを燃やすための焼却場、灰などを埋めるための埋立地、資源ごみを分別する施設、大きなごみを小さくする破碎施設、災害で出たごみのように土やがれきなどが混ざったごみを分別する施設

など、いくつかの種類があります。これらの施設は、設置する前に施設周辺の生活環境に影響がないか、適正に配慮されているか、調査を行うことが法律で義務付けられています。調査項目としては、焼却施設などの煙が大気汚染上の問題を生じないか、ごみを運搬する自動車や施設の機械の音がうるさくないか、大きな振動を生じさせないか、いやな臭いが周辺に届かない

現状の調査と施設の計画から、施設が動き出した後がどうなるかを予測し、基準を超えることが予測される場合には、超えないように設備を見直すなどの対策を提案します。廃棄物処理施設は生活になくてはならない方で、周辺に暮らす住民の生活環境を損なわないようにならなければなりません。事前の環境調査を通じて、施設の周辺への影響を予測し、適切な施設となるよう支援していきます。



4回目は環境生活センター業務開発課の野田課長です。野田さんは2007年7月に民間企業から転職し、業務開発課に配属され、業務に携わってきました。

野田さんは、市民ランナーとしてマラソン大会やトレイルラン(登山道などの未舗装道路を走る競技)に数多く参加しています。

昔から走っていたわけではなく、健康のため50歳を前に自宅周辺を歩くことから始め、だんだんと距離が伸びて、今ではフルマラソンを完走できるまでになつたそうです。そんな野田さんにマラソンと仕事のいい関係について話していただきました。

「フルマラソンは、普通の人は練習なしで絶対に完走できません。練習も距離を走ればいいといつものではなく、スピード走やJSD走などを組み合わせたり、大会前には練習量を落として体調管理を

するなどの計画と実行が大切です。私の仕事はお客様と話すことが多いのですが、マラソンを始めてからは、無計画でお客様と面会するようなことは無くなりました。事前にリサートーし、何がお客様にとって大切か、当協会がどのように役立つか、ストーリー立て話をしています。また、マラソンを始めたお陰

が見えます。」



大崎上島町 60km マラソンの完走ゴール



## マラソンと仕事のいい関係

### くじけないメンタルづくり



業務開発課 / 野田課長

野田さんの目標は定年までにウルトラマラソン100%完走です。走ることで仕事にいい影響があります。(総務課 森道史)

か、施設の排水が川を汚さないか、井戸水を汚さないかなどです。

現状の調査と施設の計画から、施設が動き出した後がどうなるかを予測し、基準を超えることが予測される場合には、超えないよう

に設備を見直すなどの対策を提案します。廃棄物処理施設は生活になくてはならない方で、周辺に暮らす住民の生活環境を損なわないようにならなければなりません。事前の環境調査を通じて、施設の周辺への影響を予測し、適切な施設となるよう支援していきます。



## 漢方外来

### 自分の体は自分で守ろう 薬物治療は最終手段



かかる、運動で筋肉をつけて血行をよくすることなどを指導しています。温める生活に変えるだけで、多くの不定愁訴(ふていしゅうそ)が改善する人もいます。もし健康診断で異常が見つかったとしても、薬物治療は最終手段だと思います。基本的に、できるだけ普段の生活の中で改善

していく方が、体にとても望ましいはずです。

またどうしても治療が必要となつた時、西洋薬での治療が難しい場合は、漢方外来の受診を提案しています。漢方ではまず体質を見極める必要があるのですが、短時間の診察では限度があり、そのためあらかじめ問診で多くの質問に答えてもらいます。この問診で診断は大きく変わるので、漢方外来を受診する準備としても、自分の体調を日頃からよく観察しておく習慣は大切だと思います。

(健康科学センター 診療所長 武生英一郎)